

令和8年9月16日

那須烏山市議会議長 相 馬 正 典 様

文教福祉常任委員会委員長 渋 井 由 放

決算審査結果報告書

本委員会に令和8年9月7日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

1 審査期日 令和8年9月8日（火）及び9日（水）

2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第二委員会室

3 出席委員 秋葉泰輔、大橋誠、矢板清枝、小堀道和、渋井由放

4 説明のための出席者

市民課長 永島一広、福祉事務所長兼健康福祉課長 岡 誠、こども課長 草分知賀子、学校教育課長 齋藤浩文、生涯学習課長 塩野目豊一、他関係職員

5 審査事項

本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課及び生涯学習課の令和7年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出決算

6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

市民課

- ・「書かない窓口」等の導入に伴い、市民アンケート調査等を通じて利用者の評価や意見を把握・反映している取り組みは高く評価する。今後は、こうした利用者視点に立った窓口改革や評価の仕組みを、市民課のみならず全庁的な部署及び事業へと幅広く展開されたい。
- ・コンビニ交付の推進や各種手続きのデジタル化・機械化に伴い、来庁者数や業務構造が変化していることを踏まえ、適切な業務の効率化とスリム化を進められたい。また、

有給休暇の取得促進や時間外勤務の削減など、各課の模範となる働き方改革の推進に率先して取り組まれない。

健康福祉課

- ・災害時において自力での避難が困難な高齢者や障がい者等を確実に支援するため、避難行動要支援者名簿の正確な更新と適正な管理に努められたい。さらに、自治会や自主防災組織、関係機関との連携のもと、名簿に基づいた実効性のある個別避難計画の作成及び防災訓練での活用を強力に推進されたい。
- ・高齢者の要介護化を防ぎ健康寿命を延伸するためには、早期からのフレイル予防が極めて重要である。「なすから健康マイレージ」等のインセンティブ制度を効果的に組み合わせることで、市民が楽しみながら主体的に運動や健診、地域活動へ参加できる機会を創出し、予防意識の向上と健康増進を図り、医療費の削減に努められたい。

こども課

- ・こども課発案により児童相談所職員を講師として招聘し、学校の教職員と共に虐待対応や相談方法について勉強会を開催した取り組みは、教育現場と連携したリスク察知能力の向上や、虐待の早期発見や適切な初期対応に繋がった非常に優れた施策であり、高く評価する。今後も関係機関とのデータ共有や連携強化を図り、こども達の安心・安全を守る体制の更なる発展に努められたい。
- ・本市において、子育てに関し妊娠・出産から乳幼児期・学童期に至るまで切れ目のない支援が充実している点は高く評価する。「なすから赤ちゃん応援券事業」や「先天性股関節脱臼検診費用の助成」など、本市独自の支援策を実施し、それが他の市町へ広がっている。今後も市民の声を拾い上げ、更なる手厚い独自支援策を推進することを期待したい。

学校教育課

- ・海外派遣事業については、参加に伴う個人負担等の費用が高額であることから、参加できる児童生徒が一部に限られてしまうという課題がある。このため、派遣先の選定や、単に児童生徒を派遣するのみならず、外国からの受入事業の充実を図ることが重要である。受入先のホストファミリーや学校等の負担感に配慮しつつ、費用を抑えた形態の導入やリモート技術の活用、中学校における円滑な受け入れ体制の構築など、効果的かつ持続可能な方法を検討・推進されたい。
- ・部活動の強制加入の見直しや地域移行の推進にあたっては、生徒自身のニーズや地域における指導者・受け入れ等の確保状況を十分に踏まえ、児童生徒の健全な育成に資する持続可能な形での移行を進められたい。
- ・教員の資質向上と定着を図るため、「なすからステップアップ研修会」をはじめとする各種研修制度を今後とも継続・充実させ、質の高い学校教育体制の確立に努められたい。

生涯学習課

- ・図書館において指定管理者制度を導入・活用することで、民間事業者のノウハウを生

かした質の高いサービス提供や、親しみやすく魅力のある図書館づくりが着実に推進されている点を高く評価する。今後も、利用者のニーズを的確に捉え、更なる発展に努められたい。

- ・本市が保有する貴重な文化財や歴史的資料の適切な保存・管理に努めるとともに、デジタル活用や展示機会の拡充を図り、市民や子どもたちが文化財に親しめる環境を整備されたい。また、学校教育との連携や学習講座等を通じて郷土愛の醸成と次世代への継承を図るとともに、那須烏山ジオパーク構想に関する保全活動や地域の自然・地質資源を生かした学習・魅力発信を推進されたい。